

第1回						【左から】 ●仙豆屋敷ならびに玄庵・露地・庭園 ●小松郵便局 ●本折ミニパーク ●gozaたきもと ●南邸
第2回						●安宅郵便局 ●鈴木邸 ●すみげん本店 ●錦窯展示館 ●古川べりの通り
第3回						●コマツ栗津工場の境界フェンス ●称名寺庫裡 ●北國銀行猫橋支店 ●宮本三郎美術館 ●元邸
第4回						●一山楼 ●北村邸 ●木場湯公園センター （愛称メタカハウス） ●やまきゅう京町店 ●やわたメディカルセンター
第5回						●小松駅西側周辺の景観 ●下栗津会館 ●学校法人 聖愛幼稚園 ●藤本皮膚科医院 ●中山邸
第6回						●石川県こまつ芸術劇場うらら ●湖蔵屋 三湖酒販 ●石野邸 ●小松日の出合同庁舎
第7回						●こまつまちなかサイン ●安宅住吉神社斎館 ●廣瀬邸 ●浅井邸 ●橋川邸
第8回						●石川県立小松高等学校 ●石田邸 ●空とこど絵本館・広場・絵本館ホール ●市見ヶ丘保育園 ●材木町地区歴史文化回廊 まちづくり協議会
第9回						●介護老人保健施設 さくら園 ●金多邸 ●木下邸 ●遊泉寺銅山跡記念公園 公衆便所
第10回						●(株)御朱印 ●高橋邸 ●山口邸 ●中山邸玄間前ガーデニング ●大川やわらぎ街道まちづくり協議会
第11回						●川北レイクサイドクリニック ●Boulangerie COPAIN ●HONU localism. ●中田邸（竹垣） ●安宅町のまちなみ（義経通り）
第12回						●コマツ青路寮 ●瀧田邸 ●柴田邸 ●田端邸
第13回						●松本邸 ●rambu-GARDEN ●山下米敦店 ●こまつ杜

第14回						【まちのみ部門】 土田邸 蘆邊邸 長保屋茶舗 日本料理 つるまる（門）
第15回						【まちのみ部門】 浅田邸 濱永邸 小松ソフィア病院 松雲堂 【広告部門】 とら屋陶器店
第16回						【夜間景観部門】 栗津温泉 足湯公園 【まちのみ部門】 農家生水 ジャパンファーム 芦城クリニック ひかりっこ保育園 【広告部門】 村井索道 社名看板 【夜間景観部門】 antiga embel
第17回						【まちのみ部門】 太田邸 わくわくコマツ2号館 木場湯公園 西園地展望休憩所 【広告部門】 ワタリ電気 社名看板 【夜間景観部門】 くすのき歯科医院
第18回						【まちのみ部門】 本江八幡神社（雲峰） 【まちのみ部門】 古民家カフェTree 大杉商店 のしろこども園 【広告部門】 ゲストハウス三田市 【夜間景観部門】 BRIDGE
第19回						【まちのみ部門】 蔵 滝ヶ原八幡神社 【まちのみ部門】 北村邸 吉田邸 TAKIGAHARA CAFE 日本キリスト教団 小松教会 【広告部門】 まそらデイサービス
第20回						【まちのみ部門】 江川邸 農口尚彦研究所 九谷セラミック・ラボラトリー 【広告部門】 LAGO BIANCO 屋外サイン 【夜間景観部門】 梯川ボートハウス

◎第21回 こまつまちなみ景観賞選考委員

【委員長】
森 俊偉 〈金沢工業大学 名誉教授〉

【委員】
坂井 修 〈小松商工会議所 専務理事〉
橋本 博之 〈小松建設設計監理協会 副会長〉
吉田 良一 〈石川県屋外広告業協同組合 小松支部長〉
中村 知恵 〈小松市国際交流協会 会長〉
五座 由己 〈（一社）小松能美建設業協会 小松委員会委員長〉
西 省吾 〈小松市造園業組合 組合長〉
西田 頼子 〈小松市校下女性協議会 会長〉
山前 圭佑 〈小松市文化財保護審議会 副会長〉 〈敬称略〉

主催：こまつまちなみ景観賞実行委員会
小松商工会議所／（一社）小松能美建設業協会小松委員会／小松建築設計監理協会／
小松市造園業組合／石川県屋外広告業協同組合小松支部／小松市

【お問い合わせ】
こまつまちなみ景観賞実行委員会事務局（小松市都市創造部まちデザイン課） TEL0761-24-8099
（令和4年3月作製）



第21回受賞作品

まちなみ部門



◎ 山谷邸

矢田野町

施主 山谷 朋広
 設計者 K+K建築設計事務所
 施工者 Kーハウジング株式会社
 施工(庭) 造園 北山

端正で清楚な表情と造りを持ち、穏やかでゆとりのあるアプローチ廻り並びに低く延びやかに広がるフロント部の造りが、ゆったりとした郊外住宅地の景観により一層の魅力を加えている。



◎ 株式会社 今出電気商会

古河町

施主 株式会社 今出電気商会
 設計者 株式会社 五井建築研究所
 施工者 株式会社 トーケン

沿道緑化を図りつつ、淡く優しい色調を持った建物を表通り沿いに細長く展開。隣接住宅地への圧迫感を軽減し、かつ通り沿いの街並に連続感と適度の賑わいを付加し、街区景観の整えに寄与している。



◎ 日本料理 梶助

大和町

施主 梶 太郎
 設計者 株式会社 ダイイチ
 施工者

軒を連ねた歴史的家が残る旧市街地の一面に建つ。伝統的な趣きのある色合いや素材及び看板表現等により、歴史的風情強化と街並の連続性に配慮した商業建築としての効果的な修築がなされている。

広告部門



◎ ワインと地酒 もりたか

八幡町

施主 森高 強
 設計者 IEMORI建築設計事務所
 施工者 株式会社 家守

温もり感のあるロゴと黒白調でシンプルにデザインされた暖簾看板と袖看板が、伝統的町家の風情を留めつつ現代風に改築されたショップの造りとも的確にフィットしたものとなっている。

夜間景観部門



◎ 変なホテル小松駅前

日の出町

施主 H.I.S.ホテルホールディングス株式会社
 設計者 株式会社 市原建築デザイン事務所
 株式会社 ストリート
 施工者 東亜建設工業株式会社 西日本建築支店

歩行者を導くように延びるアプローチ灯や植栽灯が夜景の雰囲気演出し、併せて、市設置のプロジェクションマッピングとも効果的に協調し合い、駅東口の夜間景観の魅力増幅に寄与している。

ごあいさつ

小松市には、先人たちによって大切に守り、育てられてきた霊峰白山、木場潟、日本海など美しく雄大な自然景観や寺社、町家など歴史的・伝統的な建築物が多くたたずんでおり、個性豊かな風景が様々に見られます。

2024年の北陸新幹線小松駅開業を控え、新幹線駅舎もその姿を見ることができるようになりました。これから駅高架下の整備や駅前広場の整備、駅東地区の複合ビル建設など、小松駅周辺が大きく変化してまいります。

さて、「こまつまちなみ景観賞」は、本市の魅力あるまちなみの創出に貢献しているまちなみ景観を選び、顕彰するものであります。平成11年から始まり、今回で21回目となりました。今回のまちなみ景観賞の募集には、全体で66件の応募をいただき、5点の受賞作品を決定いたしました。今回受賞されました方々には心よりお祝い申し上げます。

北陸新幹線延伸を間近に控え、小松駅周辺の新しい景観と先人から受け継いできた歴史文化自然と調和した景観、そして新幹線車窓からの景観眺望、これらを保全し、県内外に小松の魅力を発信するため、まちなみ景観へのご配慮をお願いいたします。

最後になりましたが、コロナ禍にもかかわらず審査にご尽力いただきました審査員の方々、ご応募くださった皆様に感謝申し上げます。

こまつまちなみ景観賞
 実行委員会会長
 小松市長 宮橋 勝栄



講評

第21回こまつまちなみ景観賞は、長引く新型コロナ禍にもかかわらず多数の応募がありました。

「まちなみ部門」で46件、「広告部門」で9件、「夜間景観部門」で11件の応募があり、まず一次審査(書面審査)でそれぞれ12件、3件、3件に絞り込みました。引き続き現地審査を行い、市内6ヶ所で行われた一般投票(総数867票)の結果を加味しつつ、「まちなみ部門」3件、「広告部門」1件、「夜間景観部門」1件を入賞と決定しました。

回を重ねる中で、新築や改築を問わず、どの作品にも景観に対する心配りと創意工夫が当然の務めとして積極的に為されるようになってきており、大変心強く感じました。しかし、市民の皆さんのまちづくりや景観づくりに対する日々の諸活動を耳にする機会があるにもかかわらず、今回、「まちづくり活動部門」への応募がなかったことを意外に思いました。地道な協働活動こそ重要であり、次回からの多くの参画応募に期待いたします。

北陸新幹線の小松駅開業に向けて、新駅舎や駅周辺整備の具体的な姿や諸処での関連プロジェクトの動向も見えてきました。小松の更なるステップアップの一大契機であり、開業後の国内外からの来訪者の増加も明らかです。歴史と文化と新たな活力に裏打ちされた都市の固有性と品格がより問われることもまた明確です。誇りを持って自らの暮らしが謳歌でき、来訪者にも羨望される都市となるよう、小松の景観への一層の磨き上げに期待したいと思います。

こまつまちなみ景観賞
 選考委員長
 森 俊偉

